

項 目		1.旧町内ゾーン	2.下田港周辺ゾーン	3.蓮台寺温泉ゾーン	4.海岸線ゾーン	5.里山ゾーン
景観形成の考え方	特長	下田が歩んできた歴史や下田の文化が凝縮しており、市民生活の中心的な地域となっています。	開国の幕開けなど数々の歴史の舞台となった港であり、漁業・流通の玄関口、観光の拠点となっています。	吉田松陰ゆかりの地であり、古くから栄えた湯治場としての情緒が残る温泉地です。	海辺では海水浴、ヨット、釣などの活動が営まれ、美しく変化に富んだ海岸線や漁港が形成されています。	稲生沢川・稲梓川の清らかな流れを中心に、周辺の緑に囲まれた田園が広がっています。
	景観形成の目標	下田太鼓祭りが似合うまちなみの形成 旧町内の歴史・文化の象徴、市民の元気の源が下田太鼓祭りです。数百年の伝統と市民の熱き思いを継承し、まちの活気を維持・向上していくためには、下田太鼓祭りが似合うまちなみを形成していく必要があります。	歴史ある港を感じられる景観、港を演出するまちなみの形成 下田港周辺は、開国のまち下田、海のまち下田を印象づける重要な場所です。物流・漁業の玄関、観光の拠点として、下田港周辺の魅力を高めていくためには、歴史ある港を感じられる景観、港を演出するまちなみを形成していく必要があります。	昔ながらの湯治場の雰囲気大切にしたい情緒あふれるまちなみの形成 蓮台寺温泉は、下田を代表する由緒ある温泉地です。およそ千三百年に及ぶ歴史、古くからの温泉地としての魅力を大切に、下田の宿泊拠点として活性化していくためには、昔ながらの湯治場の雰囲気を大切にしたい情緒あふれるまちなみを形成していく必要があります。	白い砂浜や美しい海岸が映える海辺と漁村景観の形成 海岸線は、地形や自然環境が多様であり、そこから生み出される魅力も満載です。海と深い関わりのある豊かな暮らしを大切にしたいためには、昔ながらの佇まいや自然を活かした味わい深い漁村景観を形成していく必要があります。また、マリレジャー・マリンスポーツのメッカとしての活気とにぎわいを維持・増進していくためには、白い砂浜や美しい海岸が映える海辺とそれと調和したまちなみを形成していく必要があります。	豊かな里山・水辺・田園と調和した魅力的な農村景観の形成 市域北部の稲生沢川・稲梓川を中心とする地域は、のどかでうるおいのある農村環境が形成されています。人々の暮らしと自然が共存しつつ、都会から来る人々にとっても魅力的な地域となるよう、豊かな里山・水辺・田園と調和し、バランスのとれた農村景観を形成していく必要があります。
	景観形成の方針	<ul style="list-style-type: none"> 下田太鼓祭り・黒船祭などの伝統的な祭り・行事後世に引き継いでいきます。 下田の歴史を伝えるなまこ壁・伊豆石造りの歴史的建造物や神社・仏閣等を大切にします。 下田太鼓祭りの舞台にふさわしいまちなみを形成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 開国にまつわる資源を大切に、開国の港としての演出を図ります。 港の借景となっている自然や緑を守り、大切にします。 歴史性を重視し、落ち着いたまちなみを形成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 吉田松陰寓居処や広台寺などの地域の歴史を物語る資源、なまこ壁・伊豆石造りの民家等を大切にします。 温泉の豊かさを演出し、湯の華小路などの魅力を高めます。 歴史的資源や建造物、由緒ある温泉旅館などが主役のまちなみを形成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 白い砂浜、美しい海岸をきれいに保ちます。 海岸線のハマユウ、野水仙、ハマボウなどの自生地等を守ります。 特長ある漁村の風景を維持します。 海辺の景観や周囲の自然景観を阻害することなく、海辺のまちのにぎわいが感じられるまちなみを形成します。 	<ul style="list-style-type: none"> 川の流れをきれいに保ち、水辺の自然環境を守ります。 緑豊かな里山を維持し、それらを活用した活動を大切にします。 豊かな自然と調和し、身近に接することができる親水空間をつくります。 里山・田園に溶け込むような家なみ、佇まいとします。
景観形成基準（建築物）	配置	・道路から見た時に、両隣の建築物と壁面の位置がそろるように配慮してください。				・河川に面する場合は、河川境界線からの壁面を後退し、河川側に空地等を確保してください。
	高さ	・昔ながらのまちの形態を守るため、周囲の建築物より突出する高さは避けてください。	・背景の山並みとの調和に配慮し、突出する高さは避けてください。	・昔ながらのまちなみを守るため、周囲の建築物より突出する高さは避けてください。	・背景の山並みとの調和に配慮し、突出する高さは避けてください。	・周囲の里山風景を阻害するような突出する高さは避けてください。
	形態・意匠	・歴史性を意識した形態・意匠としてください。 ・屋上を設ける場合には、スカイラインを乱さない形状としてください。 ・室外に設ける設備など(太陽光発電設備・風力発電設備類を含む)は、道路等の公共空間から目立たないように工夫してください。	・背景の山並みとの調和や開国の歴史ある港のイメージを尊重した形態・意匠としてください。 ・室外に設ける設備など(太陽光発電設備・風力発電設備類を含む)は、通りや港等から目立たないように工夫してください。	・昔ながらの湯治場の情緒を意識した形態・意匠としてください。 ・屋上を設ける場合には、スカイラインを乱さない形状としてください。 ・室外に設ける設備など(太陽光発電設備・風力発電設備類を含む)は、通りから目立たないように工夫してください。	・背景の山並みや海辺の風景との調和に配慮した形態・意匠としてください。 ・室外に設ける設備など(太陽光発電設備・風力発電設備類を含む)は、通りや海辺等から目立たないように工夫してください。	・里山の風景や水辺景観との調和を意識した形態・意匠としてください。 ・室外に設ける設備など(太陽光発電設備・風力発電設備類を含む)は、通りから目立たないように工夫してください。
	色彩	・通りから外観が見える部分(看板類を含む)は、歴史的建造物等と調和した落ち着いた配色としてください。	・通りや港から外観が見える部分(看板類を含む)は、港の風景との調和に配慮した配色としてください。	・通りから外観が見える部分(看板類を含む)は、昔ながらのまちなみを意識した落ち着いた配色としてください。	・通りから外観が見える部分(看板類を含む)は、海辺の風景との調和に配慮した配色としてください。	・通りから外観が見える部分(看板類を含む)は、里山の風景との調和に配慮した配色としてください。
	素材	・通りから外観が見える部分は、周辺のまちなみと調和した違和感のない素材としてください。		・通りから外観が見える部分は、周辺のまちなみと調和した違和感のない素材としてください。		
	外構	・通りに面して垣又は柵を設置する場合は、閉鎖感のあるものは避けてください。	・敷地内の空地は、緑化に努めてください。 ・国道 135 号に面する部分は、港にふさわしい中高木・花等による緑化に努めてください。	・通りに面して垣又は柵を設置する場合は、昔ながらのまちなみと調和したものにしてください。	・敷地内の空地は、緑化に努めてください。 ・国道 135 号に面する部分は、海岸線にふさわしい中高木・花等による緑化に努めてください。	・通りや河川に面して、垣又は柵を設置する場合は、閉鎖感のあるものは避けてください。